

平成19年度第3回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成19年12月22日(土) 午前10時～12時10分

2 開催場所 中央図書館2階第1集会室

3 出席者

(委員) 方波見委員長 谷口委員 奥村委員 田中委員 岩崎委員
小出委員 根津委員 藤田委員 増田委員
(事務局) 森田館長 本多係長 曾木副主査 林主任司書

4 議題

(1) 報告事項

- ①平成19年度利用統計及び事業報告について(10月から11月)
- ②平成18年度決算について
- ③その他

(2) 協議事項

- ①中央図書館の施設・機能の見直しについて

5 議事の概要

- ①平成19年10月から11月までの利用統計及び事業について事務局より報告を行った。
- ②平成18年度決算について事務局より報告を行った。
- ③平成19年第4回定例会の一般質問について事務局より報告した。
- ④20年2月8日に実施する県外視察の概要について事務局より説明を行った。
- ⑤中央図書館の施設・機能の見直しについて各委員より意見を求めた。

6 会議経過

平成19年10月から11月までの利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- ・ ネット予約が8割となっているが問題点はあるか。
- ・ 在勤者の利用が増えているとのことだが特定ジャンルの新刊などが集中して利用されることは無いのか。

平成19年第4回定例会の一般質問について事務局より報告した。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- ・ ブックスタート事業の内容は

- ・ 決算委員会の開かれるのはいつもこの時期か
- ・ 人文系中小出版社の出版物の収集は続いているのか。
- ・ ブックスタートの本代は図書館が負担しているのか。

平成 18 年度決算について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- ・ 明海大学の市民開放事業とはどういうものか。
- ・ 分館・公民館図書室の蔵書の入れ替えはどのくらいの頻度で行なっているのか。

20 年 2 月 8 日に実施する県外視察の概要について事務局より説明を行なった。
意見（質問）なし。

中央図書館の施設・機能の見直しについて事務局より協議内容の説明を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- ・ 読むためのスペースが欲しい。窓側のソファはつながっていて使いにくい。
- ・ 学習室に女性コーナー的なものはできないだろうか。
- ・ 中央館の増築はできないのだろうか。
- ・ カウンターが 4 箇所あるが、将来的に効率面を考えることも必要ではないか。
- ・ 利用者により機能化をしてゆくことも必要。実用書は分館に任せるぐらいの英断があってもよいのでは。
- ・ 滞在型と、非来館型の利用形態に即して考える必要がある。
- ・ アプローチの車椅子用のスロープが狭い。
- ・ 雑誌コーナーを文庫架の前に移したらどうか。
- ・ 書庫の展示スペースをもっと目立つところに設置できないか。
- ・ レファレンス室の奥のソファの使い方を考えたほうが良い。
- ・ 子どもたちが寝転び本を読めるスペースがあるとよい。
- ・ ラウンジが勉強の場になっている傾向がある。音楽を流すなどくつろげるスペースであって欲しい。
- ・ 閉架書庫を可動式にしたらどうか。
- ・ 新庁舎に図書館のコーナーを作ったらどうか。
- ・ 1, 2 時間でもボランティアが託児をするなどのソフト面の強化も必要。
- ・ 広く明るい雰囲気など、良いところは伸ばし、悪いところを直す改修であって欲しい。
- ・ サロンの施設が欲しい。
- ・ トイレにオストメイトへの配慮が欲しい。

- ・ ライフステージにより図書館の利用の仕方は変わる、ゾーニングし、戦略的な考えで進めてはどうか。
- ・ 中央館が司令塔として適正に機能するための施設上の整備をする必要がある。
- ・ すべての人の要求を受け入れることはできない。図書館としての本来の機能をまず考えるべき。
- ・ 青少年の行く場所が無い。児童室の一般開架に近いスペースにその機能をもたせられないか。
- ・ 学校図書館で物足りないとき公共図書館に行く、学校図書館との連携が重要になってくる。

7 傍聴者なし